

中上級 観光デジタルデータ活用講座

「観光デジタルデータを読み解く～その解析・解釈の方法」

～リアルタイムオンライン講座～

講師：東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 教授 清水哲夫

概要

DMOや観光協会などの地域における観光振興組織にとって、勘や経験だけに基づかないデジタル時代の到来に対応する意思決定が不可欠です。なかでも、通信会社や情報サービス会社が取得する**位置情報や検索に関連するデータ**は、誘致プロモーションに大きな力を発揮するWebマーケティングデータだけでは分からない旅行者のタビナカの詳細行動を把握できるポテンシャルを秘めており、地域での旅行者の高い消費額や満足の実現に向けてその積極的な活用が求められます。

しかし、位置情報・検索データの存在や種類は何となく理解しているものの、取得されるデータの特徴を十分に理解していないため、またそれらデータを使った分析の結果を適切に読み解く技術を持ち合わせていないために、せっかく活用の意思を持っていても十分に使いこなせない事例が見られます。

本講座は、現在、あるいは将来の**地域観光振興組織のリーダー**で、**位置情報・検索データの活用に関心がある方**を対象に開講するもので、これら**データの特徴を体感的に理解するとともに、結果の解釈方法を身に付けます。**

募集人数：10名

参加費：無料

※ 講座内容の検証・改善のためのデータを収集させていただきます

- ◆ Zoomによるリアルタイムオンライン形式にて開催
- ◆ 対象者・参加条件：
 - ・ 都内に在住あるいは在勤し、観光関連事業に従事している方
 - ・ Zoomを利用可能かつ、フリー地理情報システムソフトQGISをインストール可能なPCを準備できること（Windows, Macのいずれも可）
 - ・ 全日程（4日間）に参加できること
- ◆ 開催：2022年 2月28日、3月1日、7日、8日（全4日間）各日18時から20時40分まで

講座内容

※状況によりゲスト講師の追加や内容の変更をさせて頂く場合があります

オンデマンド事前学習 ※参加者には事前学習動画のURLをe-mailにてお知らせいたします

その1	約20分	観光現象を分析するためのデータのバリエーションと特徴を理解する
その2	約40分	地理情報システムQGISの機能と使い方を理解する

リアルタイムオンライン講座 ※各日18時開始 各時限75分間

1日目 2/28 (月)	1時限目	(PC演習) 関心がある地域の検索データを自分で分析・表示してみる
	2時限目	
2日目 3/1 (火)	1時限目	(総合演習) 自分の分析結果を多面的に読み解く
	2時限目	
3日目 3/7 (月)	1時限目	(総合討議) 「コンサルタントによる検索データの分析結果」を読み解く
	2時限目	
4日目 3/8 (火)	1時限目	(PC演習) 来訪者の位置情報データを自分で分析・表示してみる
	2時限目	
	1時限目	(総合演習) 自分の分析結果を多面的に読み解く
	2時限目	
		(総合討議) 「コンサルタントによる来訪者位置情報データの分析結果」を読み解く

【応募方法】募集期間：2022年2月21日(月)まで

※ただし応募が定員を大幅に超える場合は早期に締め切らせて頂きます

対象者・参加条件をご確認の上、下記のWebフォームよりお申込みください。応募者多数の場合は、ご記入内容にて選考の上、参加の可否をe-mailにてご連絡させていただきます。

【応募フォーム】 <https://forms.gle/GE3w2iapokG429yY7>

■お問合せ先

【都との連携事業について】

東京都立大学法人 経営企画室 企画財務課

Tel: 03-5990-5968

【講座・申込について】

東京都立大学 都市環境学部 観光科学科

岡野雄気 (e-mail) okano-yuki21[at]tmu.ac.jp

([at]を@に変えてお送りください)